

2023年11月10日

～毎月10日は人権を考える日～

## 生活の中で「自分の思いこみ」について見直そう

未来の世の中を作っていく子どもたちに、ぜひとも人権感覚<sup>じんけんかんかく</sup>を身につけてほしいものです。そのために、子どもたちと接する私たち大人が、日々の生活の中で子どもたちに正しいことを伝えていかなければなりません。

お笑いコンビ「髭男爵<sup>ひげだんしゃく</sup>」の山田ルイ53世<sup>やまだ せい</sup>さんは、兵庫県出身です。中学2年の夏休みから6年間ひきこもっていたそうです。それまでは、中高一貫の難関中学で何事もきちんとなしていました。それが突然ひきこもりになってしまったのです。その頃のことをこうおっしゃっています。「ひきこもりの人って暇<sup>ひま</sup>だと思われがちですが、頭の中はめちゃくちゃ忙しくて1日が終わる頃にはぐったり疲れ果てていました。」 それまでひきこもりの人は、さぞかし時間を持て余しているだろうとか、あれだけ時間があったらいろんなことができるだろうなどと考えていた私は、相手の立場に立っていない人間だったのだと反省しました。この山田ルイ53世さんは、ひきこもりの後、大検<sup>だいけん</sup>を受けて愛媛大学に入学し、学生時代に近くの短大の学園祭で漫才<sup>まんざい</sup>をしたことがきっかけで、現在の職業についてだそうです。(公益財団法人 人権教育啓発推進センター「アイユ」2023年9月号より)

私の母は、杖<sup>つえ</sup>について移動し、車いすも使用しています。先日、自治会の研修旅行の案内があり、私は、母は行けないという返事をしていました。ところが、母の友達から連絡が入り、誘われたから行くとのこと。私は勝手に、「バスには一人で乗れないから迷惑をかけるだろう。トイレに行くのも困るだろう。」と断っていたのです。母も私と同じ考えだと決めつけていました。本人に確かめるべきでした。

お祭りの時に2種類のスナック菓子の袋があったので、青っぽい袋を男の子に、ピンクの袋を女の子に配りました。何気なくいつものように配ったのです。すると、子どもたちは、「青いのがいい。」 「ピンクがいい。」と言って交換し始めました。これも、「男の子は青、女の子はピンク」という私の思いこみだったのです。

このように、自分がこれまで当然だと思っていたけれど、他の人は違う考え方をしていることがたくさんあります。それについて深く考えることはありませんでした。自分の考えていることは、すべての人にも当たり前のことだと思ってきました。しかし、よく考えてみると自分だけが当たり前だと思いこんでいるものが、たくさん混じっているようです。そのことについて、見直しをしてみませんか。

自分の中に潜む無意識<sup>むいしき</sup>の思いこみ (アンコンシャスバイアス) を見直していきましょう。